

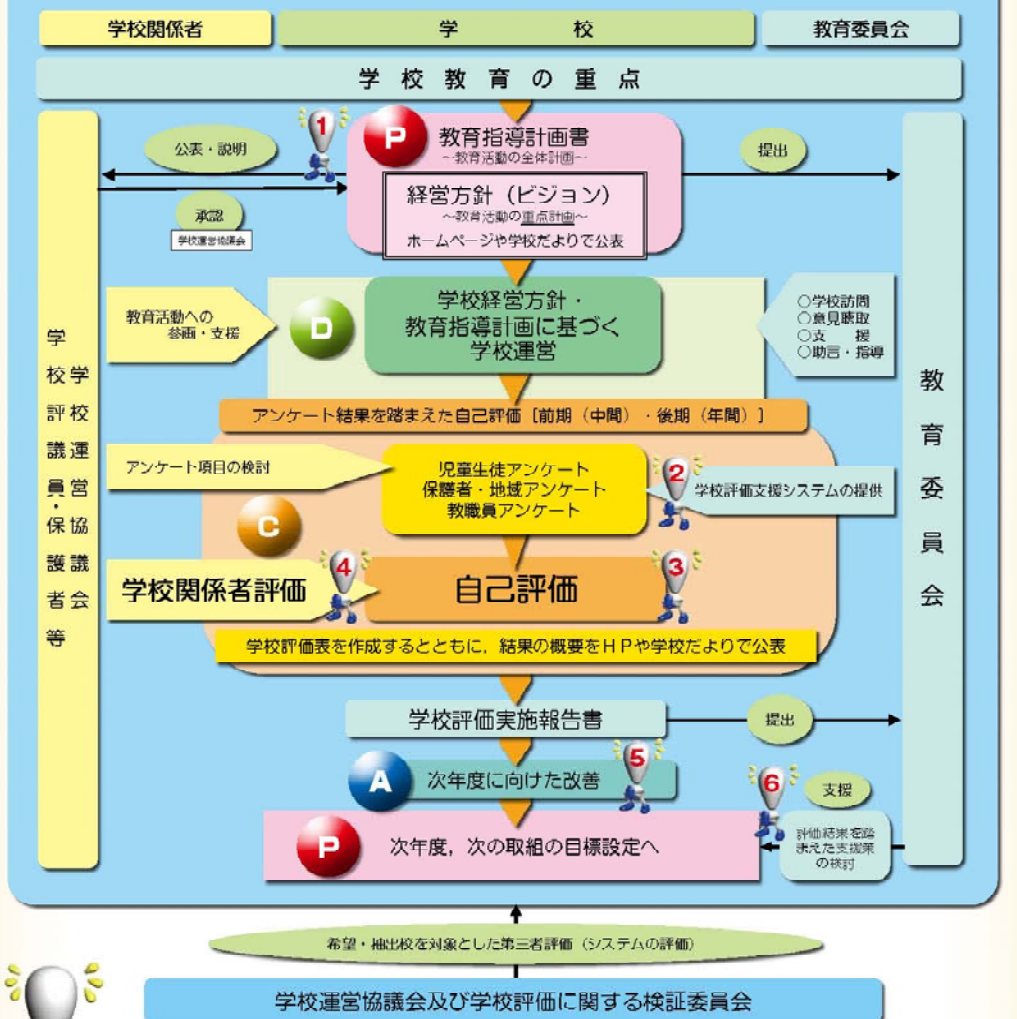
既存の制度を活用して運営改善に能動的に関わる評価者を確保（京都市）

学校運営協議会委員や学校評議員を学校関係者評価委員として位置づけており、学校関係者評価委員は学校の自己評価結果を評価するだけでなく改善策も提示する等、主体的に学校運営に関わっている。

## 年間を通した学校評価の流れ

### 学校評価の推進と学校運営の改善

学校は、自己評価を基本とし、学校関係者評価を活用して、組織的・継続的に学校改善を図っていきます。



### Point

- 1 学校経営方針, 学校評価年間計画, 評価項目の策定・公表
- 2 学校の魅力・課題の発見につながるアンケート手法の活用 (推奨)
- 3 学校組織としての自己評価を充実させ, 評価結果及び改善策を提示
- 4 自己評価結果に対する学校関係者評価の実施と, 課題解決に向けた改善策や支援策の協議
- 5 評価結果の教育委員会への報告
- 6 教育委員会は学校に対する様々な支援の情報として評価結果を活用

京都市教育委員会「リーフレット『学校評価をみんなのものに』」より

## 外部アンケートの工夫（京都市）

学校の魅力と課題を発見するための「ニーズ調査型」アンケートを実施し、学校評価支援システムを活用して簡単で分かりやすい分析結果を表示している。重要度と実現度の関係を相対的に捉えることで、教職員や保護者の意識のずれや学校の魅力、課題を焦点化し分析に役立たせている。

## 見える評価・生きる評価・活かせる評価を!

魅力と課題を発見する「ニーズ調査型」アンケート手法・分析手法を推奨しています。

「重要度」と「実現度」を問う「ニーズ調査型」アンケートの活用により、かんたん分析データベースで、それぞれを分かりやすく数値化。

学校評価支援システム（ニーズ調査型アンケート）の活用で、自動的に分かりやすい分析結果を表示!!

### ◆分析結果

| 項目                                 | ▲重要度▼ | ▲実現度▼ | ▲ニーズ度▼ |
|------------------------------------|-------|-------|--------|
| 子どもが適切な言葉づかいをすること                  | 6.6   | 3.9   | 271    |
| 子どもが丈夫な体づくりを行うこと                   | 6.6   | 4.4   | 238    |
| 子どもが学校の決まりや約束を守って生活すること            | 4.7   | 4.6   | 22.9   |
| 子どもが他人を思いやり、親切にすること                |       |       | 22.5   |
| 子どもが楽しく学校に通っていること                  |       |       | 18.4   |
| 子どもが将来の夢や希望について考えること               | 6.0   | 4.1   | 24.5   |
| 子どもが家庭で習慣的な手伝いなどの役割を持つこと           | 6.0   | 3.9   | 26.2   |
| 子どもが部活動・クラブ活動で積極的に活動すること           | 5.9   | 5.1   | 17.4   |
| 学校が、じめのない学校づくりに取り組んでいること           | 6.9   | 5.3   | 18.4   |
| 学校が、人権を大切にした教育活動を行うこと              | 6.0   | 5.6   | 16.7   |
| 学校の教育方針が関係者に伝わっていること               | 6.5   | 4.8   | 20.7   |
| 学校だより、学校ホームページで、学校の日常の様子が保護者に伝わること | 6.1   | 5.2   | 17.1   |

■は、重要度が  
高い項目(最高7.0)

■は、実現度が  
低い項目(最高7.0)

■は重要度が  
高く、実現度が  
低い項目(25.0  
以上)。この項目  
を重点課題に位  
置付けるなど、  
回答に表れた願  
いを学校の取組  
に反映させるこ  
とができます。

重要度と実現度を軸として、評価結果を相対化した分布表を作成

### ◆分布

| 重要度 | 実現度 | 項目                                 | 分析結果                    |
|-----|-----|------------------------------------|-------------------------|
| 高   | 高   | 学校だより、学校ホームページで、学校の日常の様子が保護者に伝わること | 子どもが学校の決まりや約束を守って生活すること |
|     | 低   | 子どもが部活動・クラブ活動で積極的に活動すること           | 子どもが適切な言葉づかいをすること       |
| 中   | 高   | 保護者が学校行事(授業参観・保護者会など)に参加すること       | 子どもが他人を思いやり、親切にすること     |
|     | 低   | 子どもが家庭で習慣的な手伝いなどの役割を持つこと           | 子どもが楽しく学校に通っていること       |
| 低   | 高   | 子どもが地味行事へ参加すること                    | 子どもが適切な言葉づかいをすること       |
|     | 低   | 子どもが部活動・クラブ活動で積極的に活動すること           | 子どもが楽しく学校に通っていること       |

自校の魅力

重要度も実現度も高い項目

重要度が高く、実現度が低い項目

自校の課題

重要度と実現度の関係を相対的にとらえることで、教職員や保護者の意識のずれや学校の魅力、課題を視覚的にとらえることができ、焦点化した分析が可能になります。



### Point

学校評価の結果が見えること、生きること、活かせることが重要です。新しい学校評価支援システムの活用で、自校の魅力と課題を焦点化し、絞り込んだ分析と改善策の提示が可能になります。

京都市教育委員会「リーフレット『学校評価をみんなのものに』」より

### 情報発信や意見交換等の工夫（愛知県高浜市）

高浜市立高浜中学校では、校長が保護者・地域住民と気軽に気楽に話し合える場を設定し、公式的な場やアンケート以外の方法での意見交換も大切にしている。学校の取組や保護者・地域との連携の様子は、リーフレットや各種たよりのほか、ホームページ上の学校のブログ、生徒会のブログ、PTAのブログで共有している。

高浜市立高浜中学校では、学校の目標、計画は学校関係者評価委員だけではなく、全ての保護者に情報提供するようにしている。冷蔵庫に貼れる大きさのリーフレットに学校の目標や目指す生徒像、生徒の宣言を記述し、全生徒に配布することで、学校と生徒、保護者の共通理解を図っている。

また、同校では、毎月1回「共育を語ろう会」と称し、保護者、地域住民の誰が来てもよい意見交換会を開いている。堅苦しい場でなく、井戸端会議的なものを目指しており、校長がその時々に応じて、学力、いじめ、学校の安全、進路などの話題を提供して、対話している。個人情報に留意したうえで、校長にとっては公式な場では言いにくいことも意見交換できる場となっている。



「共育を語ろう会」の様子

加えて、「校内見守りたい（隊）」という保護者等が自由参加型で授業参観できる機会を年7～8回設けている。

こうした目標共有や情報共有の取組は、学校の自己評価にも活かされていることはもちろん、学校関係者評価での議論にも役立っている。学校関係者評価は、学校に建設的な意見が言える人を委員とし、1年で交替するPTAの現会長だけではなく、歴代のPTA会長、地元企業経営者、小学校と高校の教員、有識者を委員としている。

教職員が頑張っている姿を見た保護者のアイデアで保護者と教職員が参加した奉仕活動が始まるなど、日常的な情報共有が地域に開かれた学校づくりにつながりつつある。

こうした連携協力の取組や生徒の日常的な姿は、ホームページ上でも公開されている。保護者によるPTAブログ、生徒による生徒会ブログもある。保護者の多くは「生徒の毎日の様子が知りたい」と思っている。こうした思いに対応した学校と保護者が連携した取組である。